

# 「新人事・賃金制度」の改善を！賃上げを勝ち取るぞ！

## 社員の苦勞に報いる回答を！

2011年賃金引上げなどの第1回団体交渉が2月17日に行われました。JR東海労の要求は、①定期昇給を4,800円とすること。②ベアを全組合一律3,700円引き上げること。③夏季手当は3.2ヶ月を支給すること等です。JR東海は第3四半期決算に見られるように、昨年同期よりも増収・増益になっています。また、平成22年度通期業績予想についても上方修正を行っています。このことはこれまで社員が一丸となり日夜努力した結果といえます。JR東海は社員の苦勞にしっかりと応えるべきです。しかし、JR東海は「景気の先行きが不透明」を理由に賃金引上げに対し難色を示しています。

私たちの要求に応える体力は十分にありません。JR東海労は賃金引上げのため最後まで闘います。

## 「新人事・賃金制度」を改善しよう！

JR東海の「新人事・賃金制度」が実施され5年目となります。定期昇給は3年目まで一律1,200円×4＝4,800円ですが昇進試験に合格しなければ毎年減少します。(表参照)

1～3年	$1200 \times 4 = 4,800$ 円
4年	$1000 \times 4 = 4,000$ 円
5年	$800 \times 4 = 3,200$ 円
6年	$600 \times 4 = 2,400$ 円
7年	$500 \times 4 = 2,000$ 円
8年	$400 \times 4 = 1,600$ 円
9年	$300 \times 4 = 1,200$ 円
10年	$200 \times 4 = 800$ 円
11年以降	$100 \times 4 = 400$ 円

JR東海は新人事・賃金制度」は社員の苦勞に報いる制度とっていますが、はたしてそうでしょうか。昇進試験は、受けた全員が合格するものではありません。昇進数が決められているのです。同じ仕事、同じ苦勞をしても今の制度では格差が広がります。だからJR東海労は、定期昇給を一律1,200円×4＝4,800円と要求しているのです。JR東海労は「新人事・賃金制度」を改善する闘いを進めていきます。

## 働く仲間の団結で春闘を勝利しよう！

春闘は、賃金引上げだけではなく、職場環境改善、労働条件の改善をかちとるため、労働者が団結し闘うものです。職場には多くの問題が山積しています。わたしたち職場で額に汗して働く者として今こそ声を大にし、2011春闘を勝利するため闘いましょう！私たちJR東海労はその先頭になって闘います。

# でっち上げ！「酒気帯び」出勤・不当処分を許さない！

## JR東海が「不祥事」をでっち上げ！

2月16日JR東海は、JR東海労東京第二運輸所分会組合役員に不当な「減給」処分を発令しました。処分理由は、「2月3日、酒気を帯びて業務に就いたことは、社員として著しく不都合な行為である」というものです。しかし、「酒気を帯びて業務に就いた」という事実は存在しません。会社のでっち上げなのです。組合役員は、点呼後、管理者から「酒臭い」と言われ、アルコール検知器で2回も検査をしましたが、乗務不可の0.10mg/ℓを下回っています。また、組合役員が周囲の人に聞いても誰も「酒臭い」という人はいませんでした。管理者は数値が下回っていることから一度は乗務させることし、組合役員を待機させていました。それから一時間たった頃に突然、管理者が「酒臭い」と言い出したのです。そして、いきなり乗務を降ろしたのです。

## 管理者の恣意的判断での

## 乗務降ろしは許されない！

JR東海労は、アルコール検知器で検査した数値が「乗務不可」の数値以下のため、乗務させないのは不当だと会社に抗議しました。しかし、会社は、「最終的には管理者が判断する」「数値が基準以下でも乗務を降ろすことはありえる」という回答でした。みなさん！アルコール検知器の基準値は何のためにあるのでしょうか。人間の感覚は千差万別です。だからしっかり科学的に証明するために数値で判断するのではないのでしょうか。管理者の恣意的な判断で物事を決められてはたまったものではありません。突然の「酒気帯び出勤」呼ばわりは会社のでっち上げです。

## 組合つぶし、

## 異常な労務管理を許さない！

ではなぜJR東海は事件をでっち上げたのでしょうか？それは、2月1日に私たちJR東海労は、新たな組合加入者を迎え『組織拡大』を実現しました。また、これまで会社の様々な理不尽な対応に対して、労働組合として『もの申す』姿勢を貫いてきました。このことを良く思わないJR東海は『組織拡大』で勢いづかせまいと考えたのです。更には、これまで会社は厳しい労務管理をしてきましたが、IC乗車券不正使用や大麻所持など不祥事が相次ぎ、労務管理が破綻しています。それを押し隠すために「不祥事」をでっち上げて更なる引き締めをしようとしています。JR東海労は会社のでっち上げ、不当処分を許さず闘います。

JR東海労働組合新幹線地方本部

東京都中央区八丁堀 2-1-2

TEL:03-3551-2240 Fax:03-3551-2246

E mail : jrcushinkansen@yahoo.co.jp